

# 俣野のあゆみ

年	今からかぞえて	おもなことがら
1180年(治承4年)	3000年～5000年前	○御所ヶ谷遺跡 石器・土器を使った人が住んでいた。
1197年(建久7年)	840年前	○俣野五郎が石橋山の戦いに参加。
1325年(正中2年)		○御嶽神社ができる。
1344年(応永元年)		○遊行寺ができる。
1426年(応永33年)		○小栗判官が生まれる。
1440年(永享12年)	580年前	○3月14日 小栗判官 34歳で死亡。
1441年(喜吉元年)		○10月14日 照手姫死亡。
1600年(慶長5年)		○このころより、小栗判官と照手姫のお話が伝えられるようになる。
1604年(慶長9年)		○閻魔大王や胎内臓がつくられる。
1673年(延宝8年)		○花應院ができる。
1731年(享保16年)		○猿田彦大神の石廟が御所ヶ谷にまつられる。 ・約100年後、1786年(天明6年)に御嶽神社に移される。 ・当時、俣野の戸数は60戸ぐらい。
1840年(天保11年)	180年前	○境川が大洪水で、堤防がほとんどきれる。 ・当時の耕地 田 29町2反6畝18歩 畑 44町4反6畝20歩 米のとれ高 481石8斗4升8合 そのうち年貢 80石7斗
1847年(弘化4年)		○閻魔堂が焼ける。
1872年(明治5年)		○12月14日 浪人が自殺、のちに土堤番様となる。
1882年(明治15年)		○戸籍法ができる。 (今まで屋号と名前だけだったのが、姓名が使われるようになる。)
1909年(明治42年)		○当時の耕地 田 36町3反14畝 畑 60町0反9畝 宅地 5町7反7畝9歩
1912年(大正元年)		○この年より、境川を直し、田んぼの耕地整理がはじまる。 現在のように完成したのは、昭和20年。約30年間何回かに分けて工事した。
1922年(大正10年)		○瞽女淵の碑ができる。
1929年(昭和4年)		○俣野に電灯がつくようになる。
1960年(昭和35年)	60年前	○小田急江ノ島線が開通する。
1963年(昭和38年)		○善行駅ができる。
1967年(昭和42年)		○亀井野団地ができる。
1968年(昭和43年)		○県道藤沢町田線が開通する。
1970年(昭和45年)	50年前	○県立体育センター開設。
1971年(昭和46年)		○六会市民センター会館。 ○市の木(クロマツ)、市の花(フジ)を制定 ○俣野小学校ができる。(4月)

1971年(昭和46年)		○ことばの教室開設。(5月)
1972年(昭和47年)		○PTAが結成される。
1973年(昭和48年)		○体育館・プール完成。
1974年(昭和49年)		○俣野小学校校歌作成。
1976年(昭和51年)		○俣野小学校 増築校舎完成。
1979年(昭和54年)		○東側校舎完成。
1980年(昭和55年)	40年前	○創立10周年記念行事。 ○俣野小 増築校舎完成(特別教室3、普通教室2)。 ○善行市民センター(公民館)開館。 ○またの保育園認可。
1981年(昭和56年)		○小田急線六会駅前に藤沢警察派出所開設。 ○県選定「かながわのむかしばなし50選」に「小栗判官照手姫」が入る。
1984年(昭和59年)		○立石市民の家開所。
1985年(昭和60年)		○60年ぶりに、花應院「小栗判官一代記」の絵解き復活。
1990年(平成2年)	30年前	○創立20周年記念行事。
1993年(平成5年)		○自校給食開始。 ○ランチルーム完成。
1998年(平成10年)		○小田急江ノ島線「六会駅」が「六会日大前駅」に駅名変更。
2000年(平成12年)	20年前	○創立30周年記念行事。
2003年(平成15年)		○平成15年度学校給食文部科学大臣表彰で、俣野小学校が表彰される。
2006年(平成18年)		○花應院の閻魔祭りで、同寺院所蔵の「地獄変相十三図」と「小栗判官縁起絵巻図」を公開。
2007年(平成19年)		○県立藤沢高等学校と県立大清水高等学校が統合により、県立藤沢清流高等学校になる。
2010年(平成22年)	10年前	○創立40周年記念行事。 ○六会市民センター・公民館の新築校舎完成。
2011年(平成23年)		○亀井野団地、建て替え工事第1期完成。
2012年(平成24年)		○特別支援級「またの学級」開級。
2014年(平成26年)		○亀井野団地、建て替え工事第2期完成。
2020年(令和2年)		○善行市民センター・公民館の新築校舎完成。 ○創立50周年記念行事。 ○県立スポーツセンター、リニューアルオープン。 ○亀井野団地、建て替え工事第3期着工。

2020年現在